

迎春

明けましておめでとうござります



皆さまの付託に応え、 菊池市の発展に尽くします

初春を迎え、謹んで新年のご祝辞を申し上げます。
皆さまには、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年中は、私ども市議会に対しまして深いご理解と格段のご支援ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
地方分権の推進、三位一体の改革、少子高齢化の進展など、地方を取り巻く環境も年を追うごとに厳しさを増しており、特に本市の場合、少子高齢化対策、地域経済の活性化が大きな課題であり、自治体運営の監視機関としての議会の役割も今後ますます重要になってまいることと思っております。
本年も山積する課題に向け、市民の皆さまのご期待に応えることができれば、昨年同様新たにしてまいります。特に、昨年は四市町村（旧菊池市、

旧七城町、旧旭志村、旧泗水町）の合併により3月22日、新生「菊池市」として発足、議会・執行部一丸となり、市民の皆さまにお示しした新市建設計画に基づく新しいまちづくりに懸命に取り組んでまいったところであります。
新しいまちづくりへの取り組みも、緒についたばかりではありませんが、本年もまた、新生「菊池市」の均衡ある発展に向け、地場産業の育成を基本とした地域経済の活性化、農業・畜産業や商工業の振興、発展性のある新たな工場誘致、また市民福祉の向上に向け、環境問題、少子高齢化問題などへの対応、教育環境の充実、特に昨年は低学年児童の痛ましい事件が多数発生し、そうしたことへの安全対策など、ご期待に応えるよう議会一丸となって取り組む所存でございます。

併せまして、市政への議決機関、監視機関としての認識を新たにし、公正誠実な議会運営に心がけ、身近で開かれた透明性のある議会の実現に努めてまいりたいと思っております。
本年も更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に皆さまにとりまして、本年が幸多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。
平成18年 元旦
菊池市議会議長 北田 彰



新生菊池市の二十一世紀を あなたとともに創ります

市民の皆さまには、平成18年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えるのことと心からお慶び申し上げます。
昨年の市長選挙では、市民の皆さまをはじめ、各方面からの力強いご支援と温かいご厚情を賜り、初代市長としての重責を担うことになりました。
「一年の計は元旦にあり」と申します。私は、昨年の市長選挙時に掲げさせていただきました6つの公約、そして「新生菊池市の二十一世紀をあなたとともに創ります」という想いの実現に向け、渾身の努力をいたす所存でございます。
さて、昨年を顧みますと、「紀宮さまのご結婚」や「21世紀初の万博・日本国際博覧会（愛知万博）の開幕」あるいは「2006年ワールドカップサッカー・ドイツ大会へ3大会連続出場」を決めるなど、明るい話題

はあったものの、JR史上最悪の事故といわれる「JR福知山線脱線事故」、「広島小一児童殺害事件」あるいはお隣の「福岡県西方沖地震」など、私たちの生活に不穏な影を落とす出来事が数多く発生するとともに、自然災害の恐ろしさを改めて痛感いたしました。
本市におきましては、旧菊池市・七城町・旭志村・泗水町との合併という、新しいまちを創造する記念すべき年となりました。
この新市の誕生は、旧市町村民の皆さまをはじめ議員各位のご理解とご協力の賜でございます。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。
新生「菊池市」は、本年から新しい歴史を本格的に歩み始めることになりませんが、国の三位一体改革の不透明さが残る中で、地域経済の停滞、犯罪の増加、市政の困窮など新市の進む道は決して平坦なものではあ

りません。
しかしながら、新生「菊池市」が有する美しい豊かな自然、人情味あふれる人々、歴史ある文化という素晴らしい宝の輝きは、「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」が実現する道程を、明るく照らしてくれています。
私は、「合併して本当によかった」と誰もが感じられるような、愛すべきふるさとの実現に向け、全身全霊を傾注してまいります。
本年も、市民の皆さまの更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、市民の皆さまの益々の健康とご多幸をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。
平成18年 元旦
菊池市長 福村 三男